

Shokuhin News Neo -2023 Sep-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室

電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

ゼミ旅行

9月6日と7日、おおよそ10年ぶりの研究室の研修旅行を実施した。1泊2日で行き先は福井県だ。今回は、味噌蔵見学を中心とした研修旅行だが、教員や学生のコミュニケーションを高め、研究を円滑行えるようにという思いや、普段の研究生活からのリフレッシュなど、様々な意義がある。

一日目は、敦賀で「人生で一番おいしい海鮮丼あります」と店舗横に書かれた「敦賀魚河岸海鮮丼うお吟」で海の魚をふんだんに使った海鮮丼で昼食をとり、その後、今回の研修旅行の目玉である味噌蔵「米五」を訪ねた。米五は創業天保2年で永平寺御用達の味噌蔵である。蔵に棲みついている微生物の話聞きながら、味噌づくりの工程を学んだ。また、味噌蔵に隣接する味噌のテーマパーク「みそ楽」では味噌玉づくりにも挑戦した。味噌玉は、お湯に溶かすだけで簡単に味噌汁が作れるインスタント味噌汁のようなもの。味噌に具材を混ぜ合ったりトッピングしたりしながら、見た目もかわいらしい味噌玉を作った。



味噌玉作りを楽しむ左から赤松佳歩(B4)、織井悠樹(M1)、木下侑紀(B4)。

宿泊先は、一日一組限定で古民家を一棟貸している「杵と臼」。夜は、古民家の裏庭にある東屋で、お酒を飲みながらのバーベキューパーティーを楽しんだ。また夏

の終わりの花火も楽しんだが、それ以上に感動したのは、田舎の澄んだ空気の中、見上げた星空だった。



左から花森祐次朗(B4)、織井悠樹(M1)、畑田一成(B4)

翌朝、線状降水帯が発生した大雨の中、福井県立恐竜博物館を訪れた。7月にリニューアルオープンしたばかりの博物館は、福井県の東部に位置し、恐竜化石が多数発掘されている勝山市にある。この博物館は恐竜骨格や標本などが多く展示される以外にも、地質学や古生物学などに関する展示も多く、県内外から多くの恐竜ファンが訪れる人気の施設で、世界三大恐竜博物館の一つに数えられている。地下1階から3階まであり、あまりの広さに3時間があっという間に過ぎてしまった。



恐竜博物館前で“恐竜博士”と一緒にハイポーズ！

一行は橋本准教授がそばアレルギーであることを気にもせず、昼食には地元で有名な、石うす挽き手うちそば処「きょうや」というそば屋で自家製粉により用意されたそばを満喫した。ちなみに准教授は天ぷら盛り合わせの美味しさに舌鼓を打ちながらビールを飲んでいました。

最後の目的地は、福井県池田町にあるかずら橋。樹木の生い茂る足羽川渓谷にかかる橋で、独特の揺れもあってスリル抜群。この橋の上で愛を誓うと永遠に幸せになれると言われているらしい。



かずら橋の上での記念撮影

普段の研究室生活では、お互いに研究に従事している面だけを見ることが多く、少し遠慮しがちになっている。しかし、今回の旅行では、研究室から離れ、一緒に多くの場所を訪問し、おしゃべりやゲーム、食事などを共にすることで多くのコミュニケーションをとることができた。このことはお互いの気質や性格などを理解する良い機会となり、お互いの距離をグッと縮めることができた。このように、Team“食品・栄養化学”に、より強い絆を築けた気がする。今後の研究室内における研究協力に必要な良い土台づくりになったと思う。

原著論文

Takashi Hashimoto, Shoji Yoshioka, Shiroh Iwanaga, Kazuki Kanazawa. Anti-malarial activity of allyl isothiocyanate and *N*-acetyl-*S*-(*N*-allylthiocarbamoyl)-L-cysteine. *Molecular Nutrition and Food Research*, 67(17), e2300185, 2023. DOI: 10.1002/mnfr.202300185

フリートークスペース

今月のフリートーク担当はM2の田中僚です。趣味でやっている総合格闘技について紹介してくださいました。

こんにちは、M2の田中です。私はこの9月から総合格闘技ジム「ゴンズジム」に入会して総合格闘技を学んでいます。なぜかという、理由は大きく2点あります。まず、格闘技経験はなかったのですが、就職するまでに筋トレで鍛えた筋肉を効果的に利用できるように挑戦してみたかったからです。それから、最近、顔やお腹周りが太ってきていて、自己管理の怠惰さを感じています。このことは研究室生活の中で間違はなく運動不足になっていることによるものであり、この運動不足を解消したいからです。筋肉を付けるために増量はしたものの、絞る前にやる気がなくなっていました。この前、研究室の後輩が昔の写真を見ながら「りょうさん、この頃はシュッとしてる！」みたいな事を言っていたらしく、さすがに自分でもやばいと感じ出しました。



サングラスで顔周りをごまかす田中(左)

寝技では三角締めや腕十字固めにどう入るか、どう回避するかを学んでいるのですが、やっぱり総合格闘技ジムに通っている人はムキムキばかりで腕の抑え合いみたいな力勝負では勝てないことが多いです。そのため、どう有利な体勢を作るかであったり、相手が力をかけられないように支点や力点を意識しながら関節を固定したりと奥が深いです。教えてもらう中でプロにとっては基本でも自分にとってはわからないことも多く、研究室では自分の説明が後輩にとってわかりにくいこともあるかもしれない…と振り返る良い機会にもなっています。



三角締め
(先輩・田中の後輩・畑田イジメ)

打撃も参加したことがあるが、グローブをはめてミットを打つのは全てを忘れて無心に取り組めるので、気持ちが良いです。ジムにはフィジーク日本大会優勝みたいなムキムキの留学生もいます。彼のミドルキックをミット越しに受けていて、肘下の筋肉がパンパンになったこともありましたが、「負けるかぁ」と思いながら蹴り返した根性は、根拠のない自信として社会に出てもいざというときに役立つと信じています。

まだ参加したことがないのですが、レスリングの授業はもっとしんどいらしいので楽しみです。あっという間の人生なので、皆様も挑戦してみたいことは早めに取り組んでみてください。



ストレートのフォームを確認する田中

編集後記

素晴らしい休暇だったが、あっという間に新学期が始まりました。新学期には、皆がモチベーションを維持し、より良い勉強や研究に上向きに取り組んでくれることを願っています！

孫小嵐(M1)